

## 調査世帯の皆様へ

総務省統計局統計調査部消費統計課長 栗原 直樹

- 調査世帯の皆様には日々お忙しい中、先月から家計消費状況調査にご回答いただき、ありがとうございます。厚く御礼申し上げます。
- 家計消費状況調査は、その結果が日本の景気の動向を把握する際や、経済政策に利用されているほか、地方自治体や民間の経済活動でも活用されている、大変重要な統計調査です。
- 世帯の皆様には長い調査期間でご負担をおかけしますが、調査へのご理解に感謝を申し上げますとともに、これからも引き続き調査にご回答いただきますよう、お願い申し上げます。

調査結果は、日本の景気の動向を把握する材料などに利用されています



調査票

この調査による集計結果

他の調査の集計結果（家計調査など）

日本の総支出（-1.8%）のうち家計の消費支出は-5.3%

（出典：内閣府 四半期別GDP2次速報（2014（平成26）年4-6月期）実質、季節調整済前期比）

政府の公式な景気判断

「個人消費は、一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる」

（出典：内閣府 月例経済報告（2014（平成26）年7月））

家計消費状況調査や家計調査などの調査結果を基に、政府は日本全体の個人消費の動向を把握し、景気判断などを行っています。

このように、皆様の調査票一つ一つの結果が、日本の経済状況を把握するための大切なデータとなっています。

個人情報の保護は万全です

家計消費状況調査は「統計法」という法律に基づいて行われる「一般統計調査」です。この法律には、調査に携わる者の守秘義務、調査票情報の適正な管理などが規定されています。これを踏まえ、皆様に提出いただく調査票は、統計の作成後、溶解処分するなど、秘密の保護には万全を期しています。

家計消費状況調査については、総務省統計局のホームページでも紹介しています。

URL <http://www.stat.go.jp/data/joukyou/index.htm>

家計消費状況調査

検索

## 12月に多い布団の購入

家計消費状況調査の結果からは、ある商品やサービスがいつ、どのような世帯で、どれ位購入されているか、といったことなどが分かります。

2013年の調査結果から、布団への支出の動きを見てみましょう。布団への支出は、1年をとおしてみると、12月の支出が最も多く、次いで11月となっており、秋から冬にかけて多くなっていることが分かります。

次に世帯主の年齢階級別にみると、60歳代の世帯が最も多くなっています。

図1 月別1世帯当たり1か月の布団の支出金額（二人以上の世帯 2013年）

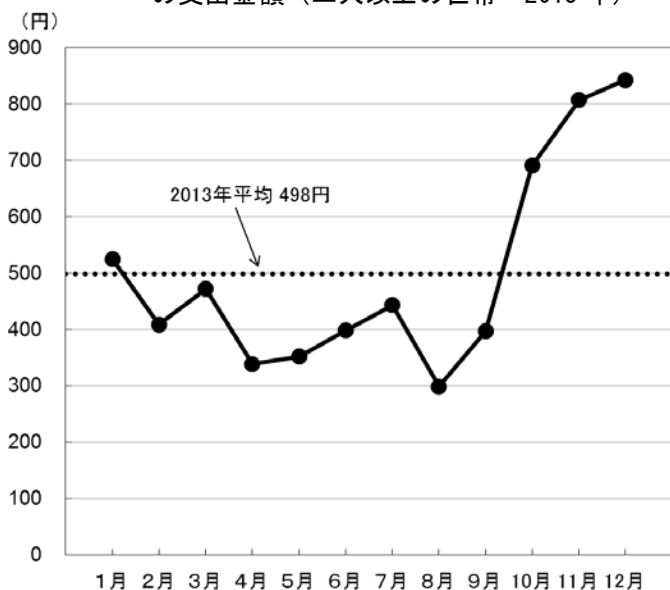
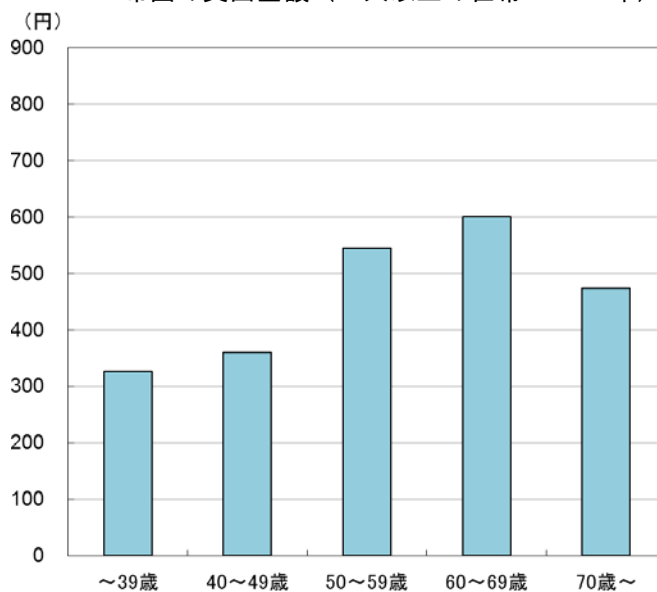


図2 世帯主の年齢階級別1世帯当たり1か月の布団の支出金額（二人以上の世帯 2013年）



※「～39歳」の金額は、「～29歳」と「30～39歳」の世帯数分布をウェイトとして加重平均しています。

## Q&A ～総務省統計局編～

Q 総務省統計局では家計消費状況調査のほかにどのような調査を行っているのですか？

A 総務省統計局は、我が国に住んでいる全ての人口などを調べる「**国勢調査**」や完全失業率など就業状態を調べる「**労働力調査**」、世帯の家計収支を調べる「**家計調査**」を実施しその結果を公表したり、物価の変動を測定する「**消費者物価指数(CPI)**」を作成し公表しています。

Q 総務省統計局はどこにあるのですか？

A 総務省統計局は、いわゆる官庁街である、東京都千代田区「霞が関」にはありません。霞が関からはちょっと離れた新宿区の若松町にあります。最寄り駅は、都営大江戸線の若松河田駅になります。また、同じ敷地内に、統計資料館などもありますので、お近くにお越しの際は、ぜひ見学にいらしてください。

Q 統計資料館とは、どのような資料を展示しているのですか？

A 統計資料館では、明治初期からの統計に関する貴重な文献や第一回国勢調査の記録資料・調査用品をはじめ、一般社団法人 情報処理学会が情報処理技術遺産として認定した我が国初の統計集計機である「川口式電気集計機」と同機で使用した入力用カードを作成する「亀の子型穿孔機」などの古い集計機器を展示しています。統計資料館に関する詳細については、以下のサイトをご覧ください。 URL <http://www.stat.go.jp/library/shiryō.htm>

統計資料館

検索